

関西医科大学 広報



光浴び、咲き誇るバラが彩る学園

Vol.38

CONTENTS

大学： 看護学部オープンキャンパス	P.1
大学： 大学院企画セミナー	P.1
大学： 若手研究者特集	P.13

病院： 合同市民公開講座	P.25
病院： ハイブリッドER導入	P.26
看護専門学校： 戴帽式	P.27

看護学部オープンキャンパス開催

6月11日(日)、7月1日(土)いずれも午前10時30分から、枚方学舎において看護学部オープンキャンパスが開催されました。2018年4月開設予定の本学看護学部(設置認可申請中)にとって初となるオープンキャンパスに、多数の参加者が来場。加多乃講堂では看護学部設置準備室片田範子教授(学部長予定者)による学部説明や、大学での授業を一足早く体験できる模擬講義が行われました。

また、附属病院の看護師が案内する病院見学や、医学部学生の案内によるキャンパス見学も実施。その他、学舎1階オープンラウンジでは個別相談会や特許取得医療機器展示が行われ、個別相談会では入試や学納金、カリキュラムなどに関して、様々な質問が寄せられました。



看護師の案内による病院見学



学部説明の様子



プログラムとオリジナルバッグを手にする来場者

大学院企画セミナーで慶應義塾大学医学部長 岡野栄之氏が講演

5月1日(月)午後5時から枚方学舎加多乃講堂において、平成29年度第一回「大学院企画セミナー」が開催されました。これは例年本学が各分野の第一人者を招き、本学大学院生・教職員・学部学生、および学内外の関係者を対象に行っている連続講座です。

今回は発生生物学・再生医学研究を専門とする、慶應義塾大学医学部岡野栄之学部長(同医学部生理学教室教授)を講師に迎え『iPS細胞と遺伝子改変霊長類技術を用いた精神・神経疾患研究』とのテーマで実施されました。岡野氏は、国内外の学会で理事を務め、また平成18年には中枢神経損傷の拡大を抑える細胞の働きを解明するなど、日本の発生生物学、再生医学を牽引する研究者。講演では、iPS細胞を用いて行っているALS(筋萎縮性側索硬化症)の治療薬開発や、遺伝子改変動物を用いたパーキンソン病の研究について解説しました。

この分野の最先端の知見に触れられる機会に多くの受講者が集まり、公演後の質疑応答でも活発なやり取りが行われました。



聴講者からの質問に熱心に答える岡野教授

外科学講座小児外科担当診療教授に就任して

外科学講座小児外科担当 診療教授 土井 崇



6月1日付けで、関西医科大学外科学講座小児外科担当診療教授ならびに関西医科大学附属病院小児外科診療科長を拝命いたしました。ご推挙いただきました関係の方々に厚く御礼申し上げます。私は順天堂大学医学部を卒業後、順天堂大学医学部附属順天堂医院にて一般外科および小児外科研修のトレーニングを受けてまいりました。順天堂大学大学院では「ヒルシュプルング病における全切除標本の病理学的な解析」というテーマで学位を取得、その後アイルランド国立ダブリン大学大学院に留学し、「カドミウム鶏モデルを用いた臍帯ヘルニアの病因究明」をテーマに研究した結果をThesisに纏め、Ph.D.を取得してまいりました。留学中には国際学会で7つの受賞を経験し、原著の英語論文としては筆頭または第2著者として50を超える執筆を手掛けました。帰国後は手術執刀または指導助手として個人で年間300~400例の小児外科手術を経験し、なかでも低侵襲内視鏡外科手術や新生児手術などは私の得意とするところです。「安全で確実」な手術を行うのは勿論のこと、本学小児科および産婦人科と緊密な連携をとり、総合周産期母子医療センターの一助となるよう

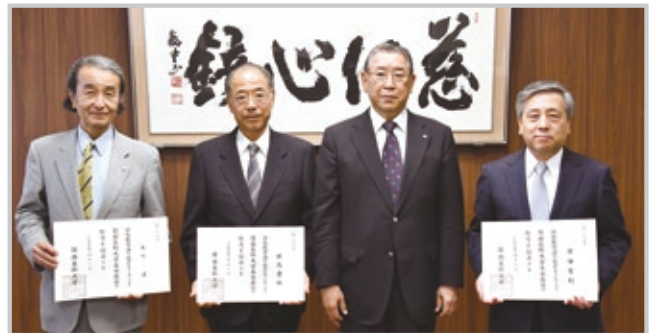
努める所存です。また外科系関連各科との連携を強化し、より集学的な外科治療を心掛けます。教育および研究におきましては、海外コミュニケーション能力および国際競争力の重要性を本学の医学生、研修医、医師に広く伝え、グローバルに情報発信ができる人材を育成いたします。そして医員には臨床医として高度かつ専門的な医療技術と知識を修得させ、臨床研究を力強く推し進め、国際舞台で活躍できる後進の育成を目指します。最後に、本学附属病院が大阪府北河内医療圏における基幹病院であることを念頭に、地域医療連携を強化し、診療実績の向上に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

略 歴

平成14年3月	順天堂大学医学部 卒業
平成14年3月	順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児外科・小児泌尿生殖器外科 研修医
平成18年3月	順天堂大学大学院 卒業
平成18年4月	順天堂大学医学部小児外科学講座 助手
平成19年4月	順天堂大学医学部小児外科学講座 助教
平成19年10月	アイルランド国立Children's Research Center, Senior Research Fellow
平成23年6月	アイルランド国立University College Dublin大学院 卒業
平成23年7月	順天堂大学医学部小児外科学講座 助教
平成24年1月	順天堂大学医学部小児外科学講座 准教授
平成29年6月	関西医科大学外科学講座小児外科担当 診療教授

名誉教授称号授与式

6月21日(水)午後3時30分から枚方学舎13階応接室において、名誉教授称号授与式が挙行されました。友田幸一学長から名誉教授称号授与の経緯について説明があった後、木下洋前学長特命教授、螺良愛郎前病理学第二講座教授、濱田吉則前外科学講座診療教授の3名に名誉教授称号の証書が授与されました。



左から、木下名誉教授、螺良名誉教授、友田学長、濱田名誉教授

本学と国際協力機構（JICA）との覚書締結について

今年4月本学はJICAとの間で国際緊急援助隊医療チームに関する「国際緊急援助嘱託の委嘱等に関する覚書」及び「所属先補てん等に関する覚書」を締結しました。今回の覚書締結は、本学救急医学講座梶野健太郎講師がJICAと「国際緊急援助嘱託の委嘱等に関する契約書」を取り交わし、医療チームの派遣候補者として登録されたことに伴うものです。

JICA国際緊急援助隊医療チームは医師、看護師、薬剤師など計48名で構成されており、最近では2013年に発生したフィリピン共和国における台風被害、2015年に発生したネパール連邦民主共和国における地震被害などに対して現地に派遣。被災者の診療にあたるとともに、必要に応じて疾病の感染予防や蔓延防止のための活動を行っています。

また、本チームは、被災者の診療支援活動に関して自発的な意志をもった医師、看護師、薬剤師などの登録者によって構成されており、実務経験や一定の語学力などにより資質が認められ、3日間の導入研修を経て、最終審査の後、合格者だけが医療チームの派遣候補者として登録されています。

平成28年度事業報告

本学の平成28年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。今後は、来年に控えた創立90周年事業の推進、及び「新中期計画」の完遂に向かって教職員一丸となって努力していきます。

教育

- 医学部 KMULAS(カムラス)の利用促進
体系的な国家試験対策の構築
テュービンゲン大学(ドイツ)との国際交流協定締結
- 大学院 新カリキュラムの安定運用

法人

- 総合医療センターリニューアル事業計画推進
看護学部設立準備
各理事長直轄作業部会の活動

研究

- KMU研究コンソーシアムの発足
研究医長・研究トークランチ責任者合同リトリートの実施
倫理審査センターの設置及びシステムの導入
3Dプリンターの導入

診療

- 附属病院 「断らない病院」の実施
- 総合医療センター 新本館開設
- 香里病院 訪問看護ステーションの開設
DPC 病院への移行

平成28年度・29年度の内部監査

内部監査室長 稲垣 千代子

平成28年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告および平成29年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。

本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1. 平成28年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

年次監査

- 「競争的資金の管理状況(平成27年度対象)」
- 「競争的資金管理のモニタリング(平成28年度対象)」
- 「医学部教育プログラム」
- 「事務組織(法人事務局：業務分担と継続性)」

2. 平成29年度内部監査計画(年次監査)

- 項目：競争的資金の管理状況(平成28年度対象)
対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
日程：平成29年7月～8月
- 項目：稟議システム
対象部門：法人全部署
日程：平成29年9月～10月
- 項目：人材育成システム
対象部門：法人事務局人事部および法人全部署事務部門
日程：平成29年11月～12月
- 項目：競争的資金管理のモニタリング(平成29年度対象)
対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
日程：平成29年12月～平成30年1月

医療安全管理センター 平成28年度インシデント報告集計

医療安全管理センターでは、附属3病院の平成28年度インシデント報告を集計しました。総報告数は、10,760件で患者への影響レベル別件数は、下の表のとおりです。

総報告数は昨年度(9,314件)より大きく増加しました。これは、3病院ともヒヤリ・ハット事例についての報告が増加したことと、平成28年4月から院内で発生した全ての死亡・死産事例については、必ず報告する運用となったことが大きく影響しています。

患者への影響レベル別インシデント及び院内死亡報告数

事故が発生する前に気がついた	1,397件
事故は発生したが患者への実害はなかった	4,389件
観察強化などが必要であるが、処置や治療は不要であった	2,361件
処置や治療を要した	1,535件
院内死亡報告(全死亡症例)	1,078件
総計	10,760件

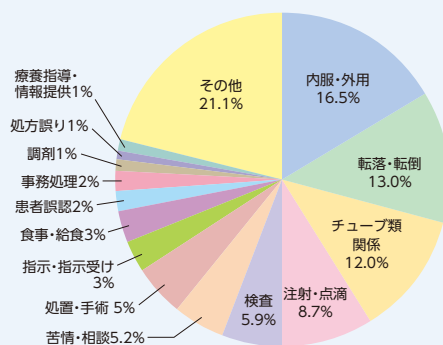
発生した問題の上位4項目は変動なし。

「内服・外用」「転倒・転落」「チューブ類関係」「注射・点滴」で全体の約50%

インシデント内容は、(1)内服・外用 (2)転倒・転落 (3)チューブ類 (4)注射・点滴に関するものが多く、これらで全体の約50%を占めています。なお、上位の4項目とも前年度と大きな変化はありません。

当センターでは、今後も附属3病院の事例検討を通じて、情報や対策の共有を図り、大学全体の医療安全向上を図ります。

発生した主な問題



関西医科大学創立90周年記念事業募金のご案内

本学では「創立90周年記念事業募金委員会」を立ち上げ、現在、募金活動を鋭意推進中です。本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【募集要項】

1. 募集対象

同窓会会員、本学学生の保護者、教職員、本学関連の個人および法人

なお、同窓会会員には牧野講堂(武道館)建設募金といたします。

2. 募集金額

1口10万円、申込口数1口以上。

多数口のご協力をお願い申し上げます。1口未満もありがたくお受けいたします。

3. 募集時期・期間

○第1期募集(平成29年度)

申込期間 平成29年4月5日～平成30年3月31日

払込期間 平成29年4月5日～平成30年3月31日

○第2期募集(平成30年度)

申込期間 平成30年4月5日～平成31年3月31日

払込期間 平成30年4月5日～平成31年3月31日

4. 申込方法

寄付申込書に所定事項をご記入ご捺印のうえ、返信用封筒にてお申し込みください。

寄付申込書は下記の3種類をご用意しておりますので、いずれかをご提出ください。

- ・個人の場合：特定公益増進法人申込書(個人用)
- ・法人の場合：受配者指定寄付金申込書
特定公益増進法人申込書(法人用)

5. 払込方法

一括払込と分割払込の2種類があります。

6. お問い合わせ先

関西医科大学法人事務局募金室

〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号

TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344

メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp

URL：http://www.kmu.ac.jp/bokin/index.html

ご不明な点は募金室までお問い合わせください。

なお、この募金の応募は任意です。

創立90周年記念事業募金として平成29年4月5日から平成29年6月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。なお、寄付金合計額は46,082,460円です。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。



今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	4月1日	労務管理セミナー
	4月3日	留学生歓迎会・送別会
	4月6日	Student Doctor認証式
	4月10日	大学院入学式
	4月13・14日	医学部1学年合宿研修
	4月18日	研究トークランチ
	4月28日	留学生送別会
	5月1日	大学院企画セミナー(慶應義塾大学 岡野栄之氏)
	5月15日	第87回解剖体追悼法要・平成29年度遺骨返還式
	5月16日	研究トークランチ
大学	6月1日	KMULAS(カムラス)活用に関するFD
	6月3日	第36回関西医大白菊会総会
	6月5日	留学生歓迎会
	6月11日・7月1日	看護学部オープンキャンパス
	6月17日	新任教員ワークショップ
	6月20日	研究トークランチ
	6月21日	名誉教授称号授与式
	6月24日	研究医長・研究トークランチ責任者合同リトリート
	6月30日・7月1日	大学院選択必修コースリトリート合宿
	6月30日	第5回臨床研究等倫理講習会
附属病院	4月28日	災害医療研修会
	5月1日	ホスピタルアートギャラリー開設
	5月11日	災害医療研修会
	5月20日	合同市民公開講座
総合医療センター	4月15日	肝臓病教室
	7月4日	ハイブリッドER稼働
香里病院	4月15日	市民公開講座
	5月1日	関医ケアプランセンター・香里開設
附属看護専門学校	5月12日	戴帽式
	5月17日	防犯訓練
卒後臨床研修センター	4月22日	看護副師長研修
	5月6日	初期臨床研修合同説明会「研修医と語ろう会」
	5月14日	マイナビレジフェス大阪
	5月20日	専門研修説明会
	5月27日	臨地実習指導者研修
6月24日	実地指導者のためのリーダーシップ研修	



労務管理セミナー



看護学部オープンキャンパス



バーモント大学学生来学



KMULAS(カムラス)活用に関するFD



初期臨床研修医合宿研修

Student Doctor認証式

4月6日(木)午後2時から、枚方学舎加多乃講堂において「Student Doctor 認証式」が執り行われました。友田幸一学長から5学年に進級した学生たちに、医療機関での診療参加型臨床実習の受講を認める認定証が授与されました。

友田学長からは「実習中に何か気になること、わからないことなどがあれば必ず確認するように。もし確認を怠ることがあれば、最後に困るのは患者さんである」とのアドバイスが与えられました。その後野村昌作教務部長の挨拶に続き、附属病院澤田敏病院長、総合医療センター關壽人副病院長からの訓示があり、本格的な臨床実習を前に学生たちは真剣な表情で耳を傾けていました。



認定証を授与する友田学長

医学部1学年合宿研修

4月13日(木)・14日(金)、ウェスティンホテル淡路(淡路市)および兵庫県立淡路夢舞台国際会議場(淡路市)において、1学年の合宿研修が1泊2日の日程で実施されました。

1日目はクラス別懇談会や接遇講習会のほか、グループ別のディスカッションを実施。2日目には前日のディスカッションをまとめた内容を発表しました。

ディスカッションでは「良医になるための、この1年間のミッション宣言」「この仲間と共に卒業するために成すべきこと」の2つのテーマから1つを選んで討論。発表では、寸劇を用いるなど創意工夫に溢れるものとなりました。

今回のレクリエーション活動では、iPadを用いて各グループがショートムービーを作成し、学生相互の投票

で優秀作品を選びました。これらの活動を通して教職員や友人とのコミュニケーションが一層深まり、新入生は大きな成果を得ていました。



集合写真におさまる学生・教職員

入試相談会参加日程予定

8月以降に参加予定の入試相談会の日時について、お知らせします。

開催地	開催日時	時 間	相談会名	会 場
福 岡	8月8日(火)	12:00	私立医科系大学進学相談会	福岡ファッションビル
愛 知	8月14日(月)	12:00	私立医科系大学進学相談会	ミッドランドホール
大 阪	8月17日(木)	12:00	私立医科系大学進学相談会	新大阪ブリックビル
福 岡	8月19日(土)	11:30	私立医科大学合同入試説明会・相談会	産業医科大学
大 阪	9月2日(土)	12:00	私立医科大学合同入試説明会・相談会	大阪医科大学

平成30年度

医学部入学試験概要

【推薦入学試験】

募集人員	10名	
募集区分	特別枠のみ、専願	
願書受付期間	平成29年11月1日(水)～11月13日(月)	
受験資格	<p>(1)平成30年3月高等学校卒業見込みの者で3学年1学期までの全体および6教科の評定平均値が共に4.0以上であり、日常の学校生活から心身共に健全で、人物・学力に優れていると判断し、学校長が推薦する者</p> <p>(2)高等学校において、次の科目又はこれらに相当する科目を履修(見込みを含む)した者 数 学：数学Ⅰは必修 数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bのうち2科目以上(理数科は、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ) 理 科：物理・化学・生物のうち2科目以上(理数科は、理数物理・理数化学・理数生物のうち2科目以上) 外国語：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ</p> <p>(3)本学の建学の精神に則り、本学への入学を希望する者</p> <p>(4)卒業後、本学又は本学指定の地域・診療科において教育、研究、診療に従事する意欲の旺盛な者</p>	
選 抜 方 法	第1次試験	第2次試験
	出願書類をもとに書類選考 〈結果通知日〉 平成29年11月21日(火)	第1次試験の合格者に実施 〈試 験 日〉平成29年11月26日(日) 〈内 容〉小論文、適性検査(数理的問題、英文問題含む)、面接(集団・個別) 〈試 験 場〉関西医科大学枚方学舎 〈合格発表日〉平成29年12月1日(金)

【センター試験利用入学試験】

募集人員	15名	
募集区分	一般枠	
願書受付期間	平成29年12月11日(月)～平成30年1月12日(金)	
受験資格	<p>(1)高等学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法第九十条第一項の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又これらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>③文部科学大臣が指定した者</p> <p>④高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験等に合格した者及び平成30年3月31日までに合格見込みの者</p> <p>⑤本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者</p>	
選 抜 方 法	第1次試験	第2次試験
	〈試 験 日〉大学入試センター試験日 平成30年1月13日(土)～平成30年1月14日(日) 〈試験科目〉国語：「国語」(近代以降の文章のみ) / 数学：『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』の2科目必須 / 理科：「物理」「化学」「生物」から2科目選択 / 外国語：「英語」(リスニング含む) 〈合格発表日〉平成30年2月7日(水)	面接(第1次試験合格者に対して実施) 〈試 験 日〉平成30年2月12日(月・祝) 〈試 験 場〉関西医科大学枚方学舎 〈合格発表日〉平成30年2月16日(金)

【一般入学試験・前期】

募集人員	85名	
募集区分	一般枠 ※大阪府地域枠含む ※若干名、特別枠を募集する場合がある	
願書受付期間	平成29年12月11日(月)～平成30年1月17日(水)	
受験資格	上記センター利用入学試験の受験資格と同様	
選抜方法	第1次試験	第2次試験
	<p>〈試験日〉平成30年1月27日(土)</p> <p>〈試験科目〉 数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」 ※「数学B」は(数列、ベクトル)を出題範囲とする。 外国語：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」 理科：「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の3科目から2科目選択(試験場で問題配布後、選択)</p> <p>小論文 〈試験場〉 インテックス大阪(大阪)、TOC五反田メッセ(東京)、TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口(名古屋)*、南近代ビル(福岡) 〈合格発表日〉平成30年2月7日(水)</p>	<p>面接(第1次試験合格者に対して実施)</p> <p>〈試験日〉平成30年2月12日(月・祝)</p> <p>〈試験場〉関西医科大学校方学舎 〈合格発表日〉平成30年2月16日(金)</p>

【一般入学試験・後期】

募集人員	7名	
募集区分	一般枠 ※大阪府地域枠含む	
願書受付期間	平成30年1月29日(月)～平成30年2月22日(木)	
受験資格	上記センター利用入学試験の受験資格と同様	
選抜方法	第1次試験	第2次試験
	<p>〈試験日〉平成30年3月3日(土)</p> <p>〈試験科目〉 数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」 ※「数学B」は(数列、ベクトル)を出題範囲とする。 外国語：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」 理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」の3科目から2科目選択(試験場で問題配布後、選択)</p> <p>小論文 〈試験場〉関西医科大学校方学舎 〈合格発表日〉平成30年3月9日(金)</p>	<p>面接(第1次試験合格者に対して実施)</p> <p>〈試験日〉平成30年3月13日(火)</p> <p>〈試験場〉関西医科大学校方学舎 〈合格発表日〉平成30年3月16日(金)</p>

※平成30年8月に「TKPガーデンシティ名古屋新幹線口」から名称変更

詳細は、平成30年度医学部学生募集要項をご確認ください。

第87回解剖体追悼法要・平成29年度遺骨返還式

5月15日(月)午前10時から、京都市東山区の臨済宗建仁寺派大本山建仁寺において「第87回解剖体追悼法要」が営まれました。医学の発展に寄与するため篤志により献体くださった故人のご遺族や白菊会会員、友田幸一学長をはじめとする教職員、3学年学生など関係者318名が参列。施主代表の友田学長が追悼の言葉を述べた後、僧侶による読経が捧げられ、参列者による焼香が行われました。

その後、午前11時から同所で「遺骨返還式」を挙行。11柱の遺骨がそれぞれのご遺族へ返還され、あわせて文部科学大臣からの感謝状が贈呈されました。

また、当日は同寺塔頭正伝永源院にある本学慰霊碑を、多くの参列者が訪れ参拝しました。



追悼の辞を述べる友田学長

第36回関西医大白菊会総会を開催

6月3日(土)午後1時から、枚方学舎加多乃講堂を主会場(第1講義室へ同時中継)として「第36回関西医大白菊会総会」が、白菊会会員188名のほか、友田幸一学長や野村昌作教務部長、解剖学、病理学、法医学分野の関係講座教職員の出席を得て開催されました。

第1部では黙祷の後、混声合唱団コールクライスのリードにより参加者が「白菊会の歌」を斉唱。続いて友田学長と白菊会藤澤直子会長の挨拶、役員及び本学関係者の紹介が行われました。その後の議題審議では行事報告・会計報告、会計監査報告があり、いずれも承認されました。また、卒寿を迎えた会員3名にお祝いの品が贈られました。

第2部「堂迫千草オンステージ」では、堂迫康雄トリオの演奏で白菊会堂迫千草副会長が歌声を披露。スペシ

ャルゲストの浄土宗正念寺住職高僧一法真證氏によるサキソフォン演奏や、全員で声を合わせて歌う場面も見られました。



藤澤会長による挨拶

新任教員教育ワークショップ開催

6月17日(土)枚方キャンパス加多乃講堂他において、「平成29年度新任教員教育ワークショップー本学の医学教育の現状を知り、求められる姿を模索しようー」が開催され、今年度新たに採用された教員が参加しました。このワークショップは本学教員の教育力強化のために、毎年度、新任の教員を対象に開催しているものです。

野村昌作教務部長の挨拶に続いて、自己紹介を兼ねたアイスブレイクを行い、参加者はこれまで自身が教育を受けてきた中で感じたことをそれぞれ紹介しました。その後「本学のカリキュラムについて」「KMULAS(カム

ラス)について」「本学のクリニカル・クラークシップ」「本学のCBTについて」「本学のOSCE、PostCC-OSCEについて」と題した5つの講演が行われ、本学における6年間の主要な教育活動について学んだのち、「学生のモチベーションを高める講義・実習とは」と題したグループ討議及びその結果発表が行われました。

参加者からは「講義の方法を考え直すきっかけとなった」「他講座の教員と教育に関する意見を共有できてよかった」など本学の教員として教育について気持ちを新たにする一日となりました。

チュービンゲン大学学生来学

3月6日(月)、本学と学術交流協定を結ぶドイツのチュービンゲン大学から医学部生Lorenz Loewe氏が来学しました。Loewe氏は4月4日(火)まで本学に滞在し、附属病院や総合医療センターで臨床実習や手術見学を行いました。滞在最終日前日となる4月3日(月)には、枚方学舎4階カフェテリアにおいてフェアウェルパーティーが開かれ、友田幸一学長、国際交流センター鈴鹿有子センター長、西山利正前国際交流センター長(公衆衛生学講座教授)、医学教育センター西屋克己センター長、Loewe氏が実習を行った救急医学講座の教員や学生・留学生らが参集。互いに名残を惜しみながら会話を楽しむ姿が見られました。



滞在期間を振り返りプレゼンテーションを行うLoewe氏

バーモント大学学生来学

4月3日(月)、本学と学術交流協定を結ぶアメリカのバーモント大学から、本学でのクリニカルクラークシップのために医学生Justin Genziano氏が来学しました。滞在最終日の4月28日(金)には、枚方学舎4階カフェテリアにおいてフェアウェルパーティーが開かれ、友田幸一学長、国際交流センター鈴鹿有子センター長ほか、学生や留学生らが集いました。

鈴鹿センター長の司会の下、国際交流センター岩井大副センター長(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座教授)が開会の挨拶を述べ乾杯の音頭を取った後、しばし歓談。

パーティーではGenziano氏が4週間の体験談やバーモント大学の紹介、自己の研究内容などのプレゼンテーションを行ったほか、音楽でも学士号を持つ

Genziano氏がピアノの演奏を披露。最後に友田学長からGenziano氏に修了証書が授与され、閉会しました。



友田学長から「修了証書」を授与されたGenziano氏

留学生歓迎会開催



自己紹介をする博士研究員

6月5日(月)枚方学舎4階カフェテリアにおいて、新たに本学へ来学した留学生・研究員の歓迎会が開催されました。会場には、国際交流センター鈴鹿有子センター長のほか、教員や学生、留学生らが集い、自身の名前と出身国・地域を書いた名札を胸につけた参加者たちが、和やかに談笑する姿が見られました。

留学生らの自己紹介の後は、同じ出身の留学生を鈴鹿センター長が互いに紹介する場面もあり、会話が弾むにぎやかな会となりました。

平成29年度大学院入学式

4月10日(月)午後3時から、枚方学舎4階中会議室において「平成29年度大学院入学式」が行われました。友田幸一学長、伊藤誠二副学長、中邨智之大学院教務部長ほか、教職員、本年度入学する25名の新生のうち21名が式に臨みました。

友田学長は式辞で、ノーベル生理学・医学賞受賞者である北里大学大村智特別荣誉教授の言葉を引用しつつ「研究にも経営の感覚が必要である」と述べ、外部資金の確保、特許料といった対価の扱いは、研究活性化につながることの重要性を語りました。続いて挨拶に立った中邨大学院教務部長は「自分自身の研究成果の再現性を高めることを意識しつつ、取り組んでほし

い」と、新生に激励の言葉を贈りました。



式辞を述べる友田学長

平成30年度大学院医学研究科学生募集要項（博士課程）

平成30年度学生募集を下記のとおり開始しました。

■募集人員 医科学専攻 計50名(前後期の合計)

■試験概要

	前期〈一般、社会人〉	前期〈外国人〉	後期〈一般、社会人〉
願書受付期間	平成29年7月26日(水)～ 平成29年8月16日(水)	平成29年7月26日(水)～ 平成29年9月15日(金)	平成30年1月4日(木)～ 平成30年1月24日(水)
試験期日	平成29年9月2日(土)	書類審査	平成30年2月3日(土)
合格発表	平成29年10月11日(水)正午		平成30年2月16日(金)正午

■選抜方法 〈一般入試、社会人入試〉 入学者の選考は、学力試験(外国語試験^{*}、研究分野別試験)を総合して行います。※次のいずれかの条件を満たしている場合は、外国語(英語)試験の受験を免除します。

なお、出願時に語学力を証明する書類の提出が必要です。

・TOEFL iBT 80点以上 ・TOEIC 750点以上 ・IELTS 6.0以上

〈外国人入試〉 書類審査を実施します。

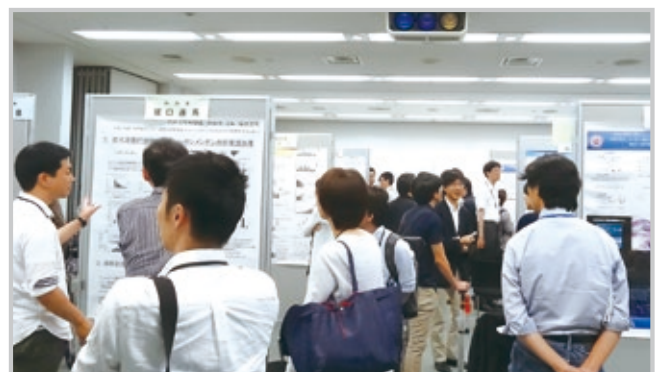
入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/admissions/index.html>)をご覧ください。

大学院選択必修コースリトリート合宿

6月30日(金)・7月1日(土)、ホテルコスモスクエア国際交流センター(大阪市)において大学院選択必修コースリトリート合宿が1泊2日で開催され、大学院生と教員あわせて計111名が参加しました。

新カリキュラムの導入にあわせて昨年から始まり、第二回となる今年の合宿では、日常の診療業務などから離れて集中的に研究のことを考え、互いに忌憚のない意見を交換できる場となるよう構成。今年度は、新たな試みとして研究中間発表会をポスター発表形式で行い、より活発な討議が見受けられました。その他、実験病理学講座上野博夫教授や附属生命医学研究所分子遺伝学部門木梨達雄教授による講演や、参加した大学院生、教員によるフリートークの時間も設けられ、参加者からは「普段

交流のない分野の方たちと情報交換ができて良かった」などのコメントが寄せられ、好評のうちに終了しました。



ポスターセッションの様子

第2回研究医長・研究トークランチ責任者 合同リトリート開催

6月24日(土)午前10時から、ホテルモンテラ・スール大阪(大阪市中央区)において「第2回研究医長・研究トークランチ責任者合同リトリート」が開催され、友田幸一学長はじめ、伊藤誠二副学長、附属生命医学研究所木梨達雄所長と研究医長および研究トークランチ責任者ら総勢45名が出席しました。

昨年からはじめたこのリトリートは、臨床系講座の研究活動を牽引する研究医長と、基礎系・臨床系講座の研究における橋渡しを担う研究トークランチ講座代表者が一堂に会し、これまでの取り組みや実績を踏まえた意見交換をすることを目的としています。

2回目の開催となった今年は「画像支援と流体力学解析」

「遺伝子解析」「精神、神経、行動科学の解析と薬剤」「がん幹細胞」の4グループにわかれ、グループワークを実施。特別講演として健康科学教室木村穰教授が「基礎医学から予防医学へ～新しい健康指標の試み～」を講演しました。



記念撮影に収まる参加者一同

【研究医長・研究トークランチ責任者合同リトリート世話人・参加者一覧】

【世話人】

	職 名	氏 名
ディレクター	学長	友田 幸一
サブディレクター	研究担当副学長／研究医長会議議長／研究トークランチ世話人	伊藤 誠二
サブディレクター	附属生命医学研究所・所長／研究トークランチ世話人	木梨 達雄

【参加者(研究医長(代理他))】24名

講座名	職名	氏名
内科学第一	准教授	伊藤 量基
内科学第二	講 師	塚口 裕康
内科学第三	助 教	富山 尚(代理)
心療内科学	講 師	阿部 哲也
神経内科学	准教授	金子 鋭
精神神経科学	講 師	西田圭一郎(代理)
小児科学	病院助教	赤川 翔平(代理)
外科学	准教授	海堀 昌樹
心臓血管外科学	講 師	岡田 隆之
呼吸器外科学	助 教	齊藤 朋人
脳神経外科学	助 教	岩田 亮一(代理)
整形外科	准教授	串田 剛俊
整形外科	助 教	植田 成実
形成外科学	准教授	森本 尚樹
腎泌尿器外科学	准教授	木下 秀文
眼科学	助 教	盛 秀嗣(代理)
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講 師	神田 晃
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助 教	澤田 俊輔
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助 教	鈴木 健介(代理)
放射線科学	准教授	中村 聡明
産科学・婦人科学	大学院生	木戸 健陽(代理)
麻酔科学	講 師	梅垣 岳志
臨床病理学	講 師	石田 光明
救急医学	講 師	室谷 卓

【参加者(研究トークランチ責任者(代理))】15名

講座・部門名	職名	氏名
解剖学第一	准教授	田中 進
解剖学第二	講 師	丸山 正人
生理学第一	講 師	林 美樹夫
生理学第二	講 師	上田 康雄
医化学	講 師	片野 泰代
薬理学	准教授	赤間 智也
実験病理学	准教授	熊野 恵城
衛生学	准教授	藤岡 龍哉
公衆衛生学	助 教	下埜 敬紀(代理)
法医学	准教授	橋谷田真樹
分子遺伝学部門※	講 師	植田 祥啓
生体情報部門※	准教授	松田 達志
モデル動物部門※	助 教	西村 愛美(代理)
神経機能部門※	研究員	松尾 朋彦
侵襲反応制御部門※	講 師	松尾 禎之

※附属生命医学研究所

【参加者(教養)】2名

教室名	職名	氏名
生物学	教 授	平野 伸二
数学	教 授	北脇 知己

【参加者(講演)】1名

教室名	職名	氏名
健康科学	教 授	木村 穰

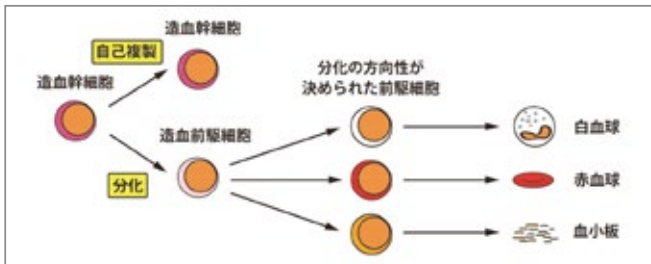
若手研究者特集

様々な研究活動とその成果が学内外から表彰され、躍動する本学の若手研究者たち。今回はその活躍の一端をご紹介します。
 ※記事企画時点で40歳以下で、一定の研究成果を持つ研究者の先生方にインタビューする連載企画です。

同じ細胞でも振る舞いが違う、謎を追う

—先生の研究テーマについて教えてください。

「ヒト造血幹細胞(HSC)の純化と階層性の解明」をテーマに研究しています。造血幹細胞は骨髄中で細胞分裂し、それぞれ特徴ある細胞に分化していきますが、細胞分裂によって自らと同じものを殖やす機能も持っています。その他の細胞は分化した後、寿命を全うして消滅していくのに対し、HSCは自己を複製し、骨髄内ではその数が維持される。同じ細胞が一方では多様な細胞に分化し、また一方では自己複製されるのはなぜか、そのメカニズムの解明に取り組んでいます。2014年には、造血幹細胞に関する研究で科研費若手研究(B)にも採択されました。

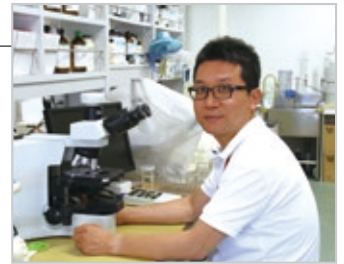


—どのような気持ちで研究に取り組んでいますか？

幼少の頃から物事の仕組みや原理・原則に強い関心があり、その思いが研究の動機となっています。予想と異なる結果が出たら、微修正しながら実験を繰り返して正解を探す。それが実験のプロセスですが、どうやったら「正解」にたどり着けるかを考えること自体が面白い。たとえ実験で予想通りの結果が出なくても、もともとそれが当たり前と考えているので落ち込んだりもしません。

—後輩研究者にメッセージを

何よりも「研究を楽しむ」ことが大切。そして研究にはもちろん頭も使いますが、体力も重要だと思います。



衛生学講座
松岡 由和 助教

- 主な受賞・競争的研究費採択歴
- ・2012年2月 第33回日本造血細胞移植学会総会 学術奨励賞
- ・2013年5月 第21回近畿臍帯血幹細胞移植研究会 優秀演題賞
- ・2014年6月 第24回日本サイトメトリー学会学術集会最優秀講演賞
- ・2015年5月 第23回近畿臍帯血幹細胞移植研究会 優秀演題賞
- ・2014年 科学研究費若手研究(B)採択 「人造造血幹細胞におけるCD34抗原の発現意義とその機能解析」

統合失調症の薬、なぜ効く人と効かない人がいる？

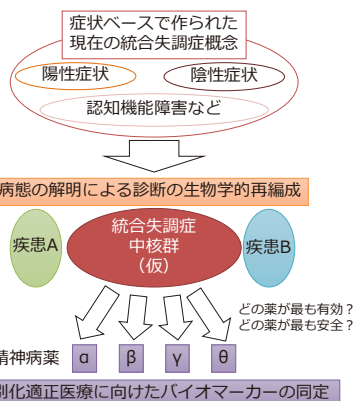
—先生の研究テーマについて教えてください。

「統合失調症の個別化適正医療」が主です。統合失調症治療薬の反応は個人差が大きく、同じ薬でも効果は異なり、副作用の出現にも個人差が大きく出ます。このため、研究の目標は投与前のバイオマーカー判定に基づき、薬効を予測すること。しかし、これまでの世界中での同様の先行研究でも、臨床で利用可能な結

果はありません。その最大の理由は診断の問題と考えられています。現在、精神科の診断は主観的な症状からなされており、生物学的には異質な疾患を多く内包しているはず。これは“発熱”や“咳嗽”といったcommonな症状で多くの身体疾患を大まかにグループ分けしているのと同じです。このように異種性の高い集団を対象とする試験で個別化適正医療に有用なデータが得られにくいのは当然。このため、私たちは今後の統合失調症個別化適正医療を見据えた“統合失調症の生物学的な切り分け”の基盤となる、バイオマーカーを探す研究を立ち上げ、今年度の科研費に採択されました。

—後輩研究者にメッセージを

「臨床」と「研究」は互いに欠かすことの出来ない重要な要素。独立はしていますが、相互のニーズが両者の進歩に影響します。臨床家は「研究者マインド」を、研究者は「臨床マインド」を、それぞれ持つことでより良い医療に向かえると信じています。



精神神経科学講座
嶽北 佳輝 講師

- 主な受賞・競争的研究費採択歴
- ・2011年9月 アジア神経精神薬理学会フェローシップ賞
- ・2013年10月 日本臨床精神神経薬理学会海外研修員賞
- ・2016年6月 PCN reviewer award
- ・2016年11月 日本臨床精神神経薬理学会学術奨励賞
- ・2011年 科学研究費若手研究(B)採択
- ・2013年 科学研究費若手研究(B)採択
- ・2017年 科学研究費基盤研究(C)採択

文部科学省・日本学術振興会関係

平成29年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 交付内定額(代表者分) 一覧

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
新学術領域研究	1	2,200,000	660,000	2,860,000
基盤研究(A)	2	19,200,000	5,760,000	24,960,000
基盤研究(B)	6	22,100,000	6,630,000	28,730,000
若手研究(A)	1	5,100,000	1,530,000	6,630,000
合計	10	48,600,000	14,580,000	63,180,000

(単位:円)

平成29年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 交付内定額(代表者分) 一覧

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)	交付内定額(合計)
基盤研究(C)	76	94,800,000	28,440,000	123,240,000
若手研究(B)	21	23,400,000	7,020,000	30,420,000
挑戦の萌芽研究	6	5,400,000	1,620,000	7,020,000
合計	103	123,600,000	37,080,000	160,680,000

(単位:円)

平成29年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 交付内定者(代表者) 一覧(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型)新規	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講 師	好中球細胞外トラップを誘導する細胞死メカニズムの解明	2,200,000	660,000
基盤研究(A)継続	神経機能部門	小早川 高	学長特命 准教授	恐怖行動を誘発する嗅覚受容体遺伝子の解明	9,000,000	2,700,000
	実験病理学	上野 博夫	教 授	舌・食道扁平上皮がん克服に向けた幹細胞階層構造解析と治療標的分子の探索	10,200,000	3,060,000
基盤研究(B)新規	形成外科学	森本 尚樹	准教授	高圧処理技術を用いた巨大色素性母斑治療～不活化機序解明と生着率向上	4,900,000	1,470,000
基盤研究(B)継続	医学教育センター	加藤 令子	教 授	障がいのある子どもが自然災害に備えセルフケア能力を高めるための支援構築	1,700,000	510,000
	生理学第二	中村 加枝	教 授	ストレスにより認知過程が変容するメカニズムの探求—分界条床核の役割	3,000,000	900,000
	生理学第一	小原 圭吾	講 師	海馬新CA2領域の回路基盤と社会性記憶のメカニズムの解明	2,800,000	840,000
	薬理学	中邨 智之	教 授	弾性線維の形成と再生の分子機構	4,600,000	1,380,000
	医化学	伊藤 誠二	教 授	痒みと神経障害性搔痒の中枢性感作機構と脊髄後角の神経ネットワークに関する研究	5,100,000	1,530,000
若手研究(A)継続	神経機能部門	山中 智子	研究員	先天的恐怖に伴う体温低下を制御するメカニズムの解明	5,100,000	1,530,000

(単位:円)

平成29年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 交付内定者(代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	小児科学	高屋 淳二	非常勤講師	都市部貧困がもたらす肥満児予防対策の検討	1,200,000	360,000
	放射線科学	中村 聡明	准教授	高精度がん放射線治療の確立に向けたWeb教育システム開発	1,000,000	300,000
	物理学	影島 賢巳	教授	ナノ空間流体の非線形生成メカニズムの極限微視的計測による検証	1,000,000	300,000
	解剖学第二	丸山 正人	講師	グリオーマ癌幹細胞特異的に発現する新規バイオマーカーの機能解析	1,400,000	420,000
	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講師	COPDマウスモデルの生体肺イメージングによるリンパ球リクルーティング解析	1,000,000	300,000
	公衆衛生学	保坂 直樹	研究員	再生胸腺微小環境によるT細胞誘導と治療への応用	1,200,000	360,000
	臨床病理学	吉賀 正亨	講師	脂肪分解酵素を介する内因性ジギタリス物質の産生機序の関与と高血圧発症機序の解明	1,100,000	330,000
	公衆衛生学	西山 利正	教授	ヒトに対して安全な蚊幼虫発育阻止剤を用いた蚊媒介性ウイルス感染症制御の検討	1,200,000	360,000
	法医学	橋谷田真樹	准教授	生前ストレス・年齢・体液を解析する法医メチレーションパネルの開発	1,500,000	450,000
	法医学	松本 智寛	講師	合成カンナビノイドの体内動態とカタレプシー発現との関連性の解明	1,400,000	420,000
	心療内科学	神原 憲治	講師	日常生活での心身モニタリングによるストレス評価と疾病リスクの予測についての検討	1,200,000	360,000
	内科学第三	岡崎 和一	教授	自己免疫膵炎の免疫病態と線維化における自然免疫の関与に関する研究	1,400,000	420,000
	薬理学	平井 希俊	講師	ErbB受容体を介した成熟心筋細胞の増殖誘導	1,200,000	360,000
	実験病理学	熊野 恵城	准教授	肺がん幹細胞の起源の違いに基づく新たな治療標的の探索	1,400,000	420,000
	内科学第二	塚口 裕康	講師	腎嚢胞形成を促進するシグナル伝達機構の分子遺伝学的研究	1,400,000	420,000
	衛生学	松岡 由和	助教	ヒト造血幹細胞支持因子の同定と支持機構の解明	1,900,000	570,000
	内科学第一	伊藤 量基	准教授	骨髄腫最適化治療に向けたIMiDsと抗体医薬の免疫賦活機序の解明	1,400,000	420,000
	精神神経科学	嶽北 佳輝	講師	無作為比較試験を基にした治療抵抗性統合失調症の生物学的治療アルゴリズム構築と検証	900,000	270,000
	精神神経科学	織田 裕行	助教	自殺企図男性のLOH症候群に関する検証	900,000	270,000
	放射線科学	狩谷 秀治	准教授	ナノバブル生成器の開発：バブル投与下超音波照射によるソノポレーション効果での検証	1,200,000	360,000
	放射線科学	谷川 昇	教授	悪性腫瘍に対する2種類の同位元素を用いた新しい経カテーテル的放射線塞栓療法の開発	1,400,000	420,000
	外科学	石崎 守彦	助教	増殖型遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いた神経内分泌腫瘍に対する新規治療の開発	1,100,000	330,000
	呼吸器外科学	村川 知弘	教授	ウイルスの関与に着目した胸腺上皮性腫瘍発症メカニズムに関する探索的研究	1,600,000	480,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	microRNAによる妊娠高血圧症候群の病態解明と遺伝子治療への応用	1,900,000	570,000
腎泌尿器外科学	駒井 資弘	助教	腎不全進行克服に向けた腎臓における組織幹細胞階層構造解析	1,400,000	420,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	病態分子イメージングセンター	船津 宣雄	助 教	精母細胞に特異的に発現する転写因子Ovo2の精子形成における役割	1,900,000	570,000
	腎泌尿器外科学	木下 秀文	准教授	手術動作の医工学的な解析と、それらを基盤とした科学的なトレーニング法の構築	3,100,000	930,000
	産科学・婦人科学	岡田 英孝	教 授	転写因子HAND2による着床制御機構の解明	900,000	270,000
	形成外科学	覚道奈津子	講 師	脂肪幹細胞の低酸素応答メカニズムの解明と新たな体外増幅法の開発	1,100,000	330,000
	救急医学	鎌方 安行	教 授	敗血症ショックに対するβ受容体機能調整を利用した新しい循環制御法の開発	1,900,000	570,000
	救急医学	室谷 卓	講 師	来院時心肺停止患者における赤血球表面上の補体沈着とその侵襲の評価	1,400,000	420,000
	医学教育センター	原 朱美	助 教	こどものセルフケア能力に着目した在宅生活支援モデルの検討	1,200,000	360,000
基盤研究(C) 継続	物理学	楠本 邦子 (竹本邦子)	准教授	軟X線マイクロCT法による植物プランクトンの細胞外代謝物が含有する有機物の定量	700,000	210,000
	病理学第二	垪 貴司	講 師	乳癌制御に効果的な海洋性キサントフィルの探索研究	500,000	150,000
	解剖学第一	若林 毅俊	非常勤講師	血管柄付き神経移植による視機能の回復	1,200,000	360,000
	生理学第二	則武 厚	助 教	自己の報酬価値に影響する他者の報酬情報表現の解読—視床下部外側野の役割	800,000	240,000
	解剖学第一	高森 康晴	研究員	ニューロンおよびグリア細胞における核膜構築タンパク質の多様性	1,100,000	330,000
	微生物学	藤澤 順一	教 授	HTLV-1感染ヒト化マウスを用いた未発症感染キャリア成立要因の解析	900,000	270,000
	内科学第一	野村 昌作	教 授	Tリンパ球由来マイクロパーティクルによる呼吸器関連アレルギー疾患の新規病態評価法	800,000	240,000
	医化学	西田 和彦	助 教	投射ニューロン特異的カルシウムイメージングを用いた疼痛評価系の確立	900,000	270,000
	医化学	松村 伸治	講 師	In vivoイメージングによる疼痛維持機構におけるプロスタノイドの役割の可視化	900,000	270,000
	公衆衛生学	三宅 真理	講 師	携帯型情報通信技術を用いた介護者のための身体負担量評価システムの開発	500,000	150,000
	内科学第三	内田 一茂	講 師	1型自己免疫性膵炎における好塩基球を介した自然免疫反応の役割	1,200,000	360,000
	内科学第三	西尾 彰功	准教授	膵炎発症抑制に関与する制御性B細胞の解析と治療応用の検討	1,400,000	420,000
	精神神経科学	加藤 正樹	准教授	バイオマーカーに基づく無作為割付比較試験による混合性うつ病の治療アルゴリズム構築	2,700,000	810,000
	放射線科学	中谷 幸	助 教	CT透視の術者被曝を低減するシールドの臨床評価	900,000	270,000
	衛生学	白水 泰昌	講 師	ヒトiPS細胞由来バイオ人工肝臓のin vivo performanceの検討	800,000	240,000
	外科学	海堀 昌樹	准教授	癌根治手術のための光プローブを用いた迅速定量病理診断法の開発	1,400,000	420,000
	外科学	松井 康輔	講 師	インドシアニンググリーン・ラクトソームを用いたがん診断・治療技術の開発	1,300,000	390,000
	外科学	権 雅憲	教 授	根治不能肝腫瘍に対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた新治療法の臨床応用研究	1,300,000	390,000
	脳神経外科学	浅井 昭雄	教 授	グリオーマ癌幹細胞を標的とした樹状細胞療法の開発に関する基礎研究	500,000	150,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	神田 晃	講 師	One airway, one diseaseの機序解明と新しい治療戦略	1,400,000	420,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	形成外科学	楠本 健司	教授	無細胞多血小板血漿の検証と実験的検討	1,400,000	420,000
	病理学第二	義澤 克彦	講師	キチン・キトサンオリゴ糖を用いた網膜色素変性症動物モデルでの新規治療法の確立	1,100,000	330,000
	数学	川浦 孝之	助教	臨床研究統計手法の逆引き探索と自己学習を支援するシステムの構築	2,300,000	690,000
	神経機能部門	松尾 朋彦	研究員	嗅覚受容体における匂い情報統合機構の解析	1,800,000	540,000
	実験病理学	吉田 真子	講師	タイムラプスイメージングに基づく睪島形成原理の解明	1,000,000	300,000
	解剖学第一	山田 久夫	教授	サテライトグリアの亜種をマルチモダル組織化学観察によって斬る！	1,400,000	420,000
	解剖学第一	田中 進	准教授	新規オレキシン転写制御因子の機能解析とナルコレプシーへの関与	1,500,000	450,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講師	細胞動態制御分子Rap1による胸腺制御性T細胞産生シグナルの時空間的制御	1,400,000	420,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小林 良樹	講師	好酸球性気道炎症の治療ターゲットとしてのステロイド受容体の局在と機能の解析	1,300,000	390,000
	医化学	片野 泰代	講師	中枢性感作における脊髄疼痛伝達回路での神経障害性疼痛関連分子BEGAINの役割	900,000	270,000
	放射線科学	米虫 敦	講師	ハイブリッド手術における医療従事者の水晶体被曝線量評価に関する多施設共同研究	700,000	210,000
	公衆衛生学	神田 靖士	准教授	検体に尿を用いた結核迅速診断キットの実用化の検討	1,100,000	330,000
	内科学第三	福井 寿朗	講師	Smad2/3リンカー部リン酸化に着目した癌幹細胞・癌の発生・進展に関する検討	1,100,000	330,000
	衛生学	藤岡 龍哉	准教授	ニッチシグナル阻害によるCD34抗原陰性白血病幹細胞を標的とした抗体療法の開発	1,200,000	360,000
	内科学第一	佐竹 敦志	講師	顆粒球単球コロニー刺激因子の免疫抑制作用を利用した慢性GVHD制御法の開発	900,000	270,000
	衛生学	菡田 精昭	教授	ヒト未分化CD34抗原陰性造血幹細胞の純化と分化経路・階層制の解明	1,400,000	420,000
	小児科学	金子 一成	教授	ビタミンAとDの免疫作用を利用した微小変化型ネフローゼ症候群の画期的治療の検討	1,400,000	420,000
	腎泌尿器外科学	吉田 崇	助教	副腎皮質再生メカニズムの解明と自家移植への応用	1,300,000	390,000
	呼吸器外科学	齊藤 朋人	助教	肺癌前転移ニッチ関連バイオマーカーの特定と先制医療への展開	900,000	270,000
	侵襲反応制御部門	西 憲一郎	研究員	低酸素誘導性因子1機能調節解析を基軸としたタバコ誘導性肺・気道炎症機構の検討	1,100,000	330,000
	侵襲反応制御部門	松尾 慎之	講師	周術期炎症管理における新規診断・治療戦略の開発：レドックスバイオロジーの臨床応用	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学	松田 公志	教授	泌尿器内視鏡手術における Ergonomic analysis	800,000	240,000
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	岩井 大	教授	細胞性免疫操作による老人性難聴予防	1,400,000	420,000	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	兒島 由佳	講師	放射線性顎骨壊死の病態と発症リスク因子の解明に関する多施設共同研究	1,300,000	390,000	
若手研究(B) 新規	放射線科学	丸山 拓士	任期付助教	難治性乳癌漏れに対する胸管-下大静脈バイパス術の基礎的研究	600,000	180,000
	整形外科	植田 成実	助教	超音波処理法と次世代シーケンサーによるインプラント周囲感染の新規診断法の構築	1,700,000	510,000
	麻酔科学	吉田 敬之	助教	拡張現実(AR)技術を応用した麻酔穿刺針ガイドシステムの先駆的開発研究	1,100,000	330,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究(B) 新規	腎泌尿器外科学	谷口 久哲	助 教	movo/hovo遺伝子の精子形成に関する研究	1,600,000	480,000
	外科学	中竹 利知	助 教	抗腫瘍免疫賦活機能を付加した癌特異的複製型HSV-1による肝細胞癌への治療開発	1,700,000	510,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	助 教	LFA-1活性化シグナルによる細胞外小胞排出機構の解明	1,700,000	510,000
	実験病理学	厚海 奈穂	助 教	2段階細胞系譜追跡法の開発を通じた膝障害後の腺房細胞を起点とするがん化機構の解明	1,000,000	300,000
	化学	前野 覚大	助 教	細菌芽胞の圧力殺菌機構解明に向けた高圧NMRによる分子論的アプローチ	2,500,000	750,000
若手研究(B) 継続	解剖学第一	大江 総一	助 教	FMRI・CPEB1相互翻訳制御機構に注目した脆弱X症候群治療標的	900,000	270,000
	放射線科学	上野 裕	助 教	大量ナノバブルにより増強したキャビテーション効果を利用したソノポレーションの評価	800,000	240,000
	産科学・婦人科学	都築 朋子	助 教	血管新生と低酸素誘導因子HIF-1に着目した子宮内膜症の新規治療戦略	700,000	210,000
	形成外科学	尾川 武史	研究員	低酸素による脂肪幹細胞の活性化メカニズムの解明と皮弁虚血再生治療への応用	700,000	210,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	澤田 俊輔	助 教	慢性菌周炎の菌槽骨吸収におけるIL-1 β とCX3CR1/FKNの役割	900,000	270,000
	生物学	岡野 圭子 (今井圭子)	助 教	シアノバクテリア時計蛋白質KaiC複合体による細胞内時計の安定性制御の解析	500,000	150,000
	医化学	井上 明俊	助 教	脳における痒みの神経伝達機構と伝達経路の解析	1,600,000	480,000
	内科学第三	山口 隆志	助 教	進行肝細胞癌に対する分子標的治療の効果を予測する新規バイオマーカーの探求	500,000	150,000
	内科学第三	富山 尚	助 教	自己免疫性膝炎における疾患エクソソームの解析	1,500,000	450,000
	小児科学	山内 壮作	助 教	胎児期のカルシウム不足は、仔の成獣期に高血圧や慢性腎疾患を引き起こすのか？	800,000	240,000
	精神神経科学	池田俊一郎	助 教	非侵襲脳刺激法の統合失調症治療にむけた臨床症状及び客観的指標での検証	600,000	180,000
	腎泌尿器外科学	吉田 健志	助 教	内視鏡下手術操作における技術分析と新規教育方法の開発	700,000	210,000
	眼科学	大中 誠之	助 教	IV型コラーゲン由来ペプチドによる眼内血管新生抑制効果の検討	1,300,000	390,000
挑戦的萌芽研究 継続	医学教育センター	瀬戸奈津子	教 授	インシデント発生に関連する看護師のコンディション・アセスメントツール開発	700,000	210,000
	形成外科学	森本 尚樹	准教授	インジェクタブル人工脂肪の開発	700,000	210,000
	神経機能部門	小早川令子	学長特命教授	情動と体温を結ぶ分子メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	心療内科学	阿部 哲也	講 師	医療面接におけるコミュニケーション技法の客観的評価指針の開発	800,000	240,000
	侵襲反応制御部門	廣田 喜一	学長特命教授	ミトコンドリアサイブリッド細胞を用いたプロポフォール注入症候群の分子機構解明	1,000,000	300,000
	薬理学	赤間 智也	准教授	角膜細胞外マトリックスの改造による角膜厚調節	1,000,000	300,000

(単位：円)

平成28年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学から転入の代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(B)	医学教育センター	加藤 令子	教授	障がいのある子どもが自然災害に備えセルフケア能力を高めるための支援構築	2,000,000	600,000	2,600,000
挑戦的萌芽研究	医学教育センター	瀬戸奈津子	教授	インシデント発生に関連する看護師のコンディション・アセスメントツール開発	800,000	240,000	1,040,000
若手研究(B)	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講師	癌微小環境中における腫瘍関連マクロファージの生体機能イメージング	1,000,000	300,000	1,300,000
決定額(追加分)合計					3,800,000	1,140,000	4,940,000

(単位：円)

平成28年度科学研究費助成事業(追加：分担者) 一覧(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	直接経費	間接経費	合計
基盤研究(A)	医学教育センター	加藤 令子	教授	兵庫県立大学 副学長 片田 範子	オレムのセルフケア理論を基盤とした「こどもセルフケア看護理論」の構築	300,000	90,000	390,000
	薬理学	中邨 智之	教授	京都大学 教授 鈴木 茂彦	新規基材と機能性タンパク質を用いた弾性線維の三次元的再生医療の実用化	1,000,000	300,000	1,300,000
基盤研究(B)	医学教育センター	瀬戸奈津子	教授	大阪大学 教授 清水 安子	糖尿病患者セルフケア能力測定ツールを活用した外来患者用ICT看護システムの開発	100,000	30,000	130,000
	腎泌尿器外科学	松田 公志	教授	大阪大学 准教授 黒田 嘉宏	多層計測と非線形柔軟物モデルの協調による実時間臓器追跡に関する研究	400,000	120,000	520,000
	腎泌尿器外科学	吉田 健志	助教	大阪大学 准教授 黒田 嘉宏	多層計測と非線形柔軟物モデルの協調による実時間臓器追跡に関する研究	400,000	120,000	520,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	筑波大学 講師 三輪 佳宏	マウス高度非侵襲イメージングシステムの開発と応用	500,000	150,000	650,000
	外科学	権 雅憲	教授	大阪電気通信大学 教授 登尾 啓史	GPUの深度画像並列処理機能による肝臓手術ナビゲーションシステムの製作とその評価	100,000	30,000	130,000
	外科学	海堀 昌樹	准教授	大阪電気通信大学 教授 登尾 啓史	GPUの深度画像並列処理機能による肝臓手術ナビゲーションシステムの製作とその評価	100,000	30,000	130,000
	医学教育センター	加藤 令子	教授	茨城県立医療大学 准教授 沼口知恵子	医療を必要とする子どもの災害に備える力を高めるための支援ツール開発	150,000	45,000	195,000
基盤研究(C)		友田 幸一	学 長	滋賀大学 准教授 芦谷 道子	小児聴覚処理障害に対する雑音下聴力評価及び他覚的評価の開発と心身臨床教育的支援	1,780,000	534,000	2,314,000
	小児科学	石崎 優子	准教授	滋賀大学 准教授 芦谷 道子	小児聴覚処理障害に対する雑音下聴力評価及び他覚的評価の開発と心身臨床教育的支援	30,000	9,000	39,000
	精神神経科学	木下 利彦	教授	日本福祉大学 准教授 吉野 真紀	性同一性障害当事者の自己実現過程と心理的变化に関する研究	80,000	24,000	104,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 准教授 橋本 悟	腎臓クロストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	400,000	75,000	475,000
	医学教育センター	瀬戸奈津子	教授	大分大学 准教授 脇 幸子	糖尿病患者のセルフケア自己評価支援ツールとCDE看護師育成プログラムの開発	50,000	15,000	65,000
	心療内科学	阿部 哲也	講師	関西外国語大学短期大学部 准教授 川島 理恵	信頼関係構築に向けたプライマリ・ケア診療の会話分析的研究	80,000	24,000	104,000
	解剖学第一	田中 進	准教授	公益財団法人東京都医学総合研究所 研究員 本多 和樹	ナルコレプシーにおける、より侵襲性の低い診断方法の確立	300,000	90,000	390,000
	外科学	海堀 昌樹	准教授	立命館大学 教授 西澤 幹雄	新しい核酸医薬で敗血症を治療するための分子基盤の構築	300,000	90,000	390,000
	放射線科学	米虫 敦	講師	慶應義塾大学 助教 井上 政則	乳癌胸水に対する経皮的胸管塞栓術の基礎的検討：実験動物モデルの確立と安全性の検討	20,000	6,000	26,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 客員講師 影山 京子	microRNAによる急性腎障害発症機序の解明と、早期診断バイオマーカーへの応用	430,000	129,000	559,000
	侵襲反応制御部門	廣田 喜一	学長特命教授	公益財団法人田附興風会 部長 足立 健彦	急性肺障害の慢性化過程に動的な生体内レドックスリモデリングが果たす役割の追究	1,000,000	300,000	1,300,000

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	直接経費	間接経費	合計
基盤研究(C)	解剖学第一	若林 毅俊	非常勤講師	国際医療福祉大学 教授 小阪 淳	再生視神経回路のリハビリテーションによる視覚中枢の遺伝子発現パターン修飾	30,000	9,000	39,000
	医化学	伊藤 誠二	教授	大阪工業大学 教授 芦高恵美子	NIPSNAPIによるミトコンドリアの品質管理制御と疼痛慢性化との関連	50,000	15,000	65,000
	外科学	駒井 宏好	診療教授	東京医科歯科大学 准教授 井上 芳徳	閉塞性動脈疾患における歯周病治療の有効性について	75,000	22,500	97,500
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 助教 中山 力恒	周術期抗血小板薬効果モニタリングのための血小板由来microRNA発現解析の検討	350,000	105,000	455,000
	形成外科学	森本 尚樹	准教授	滋賀医科大学 准教授 岡野 純子	糖尿病性皮膚潰瘍の発生予防-皮膚バリア機能破綻機序の解明と新規治療法の開発	90,000	27,000	117,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 客員講師 徳平 夏子	急性腎障害に関与するmiRNA-ceRNAクロストークとバイオマーカーへの応用	900,000	270,000	1,170,000
	脳神経外科学	岩田 亮一	助教	高知大学 研究員 津野 隆哉	ヒト癌幹細胞に対するIFN-α 賦活BID遺伝子/放射線集学的治療の検討	300,000	90,000	390,000
	神経内科学	近藤 誉之	診療教授	同志社大学 教授 池川 雅哉	イメージングマスマスベクトロメトリーを核とした多発性硬化症バイオマーカー探索	50,000	15,000	65,000
挑戦的萌芽研究	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	東京大学 准教授 澤井 哲	免疫細胞における時空間情報処理特性の解析	400,000	120,000	520,000
	麻酔科学	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 教授 佐和 貞治	単一ドメイン抗体によるグラム陰性菌Ⅲ型病原毒性の抑制探索	30,000	9,000	39,000
	薬理学	中邨 智之	教授	京都大学 助教 野田 和男	bFGFとの結合を介するLTBP-2の創傷治癒における機能的役割の解明	300,000	90,000	390,000
決定額(追加：分担者)合計						10,095,000	2,983,500	13,078,500

(単位：円)

厚生労働省関係

平成29年度厚生労働科学研究費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野))	衛生学	藺田 精昭	教授	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関-移植用臍帯血有効利用への応用-	2,737,000	684,000	3,421,000
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三	岡崎 和一	教授	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	19,230,000	5,769,000	24,999,000
厚生労働科学研究費補助金(代表者)合計							28,420,000

(単位：円)

平成28年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三	岡崎 和一	教授	IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	京都大学 医学研究科 名誉教授 千葉 勉	2,800,000
	内科学第三	岡崎 和一	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	東邦大学 医学部 教授 鈴木 康夫	500,000
	外科学	濱田 吉則	非常勤講師	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	東北大学 大学院医学系研究科 教授 仁尾 正記	100,000
	皮膚科学	神戸 直智	准教授	自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準・重症度分類、診療ガイドラインの確立に関する研究	京都大学 大学院医学研究科 教授 平家 俊男	700,000
	眼科学	高橋 寛二	教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	岡山大学 大学院医歯学総合研究科 教授 白神 史雄	100,000
厚生労働科学研究費補助金(分担者)合計						4,200,000

(単位：円)

平成28年度厚生労働科学研究費補助金(分担者)一覧(代表管理分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野))	衛生学	藤岡 龍哉	准教授	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関 - 移植用臍帯血有効利用への応用 -	衛生学教授 藪田 精昭	—
	衛生学	松岡 由和	助 教	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関 - 移植用臍帯血有効利用への応用 -	衛生学教授 藪田 精昭	—
	内科学第一	野村 昌作	教 授	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関 - 移植用臍帯血有効利用への応用 -	衛生学教授 藪田 精昭	—
	内科学第一	藤田 真也	助 教	非血縁者間臍帯血移植における移植造血幹細胞数と移植成績の相関 - 移植用臍帯血有効利用への応用 -	衛生学教授 藪田 精昭	—
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	小児科学	金子 一成	教 授	先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群(総排泄腔遺残、総排泄腔外反、MRKH症候群)におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン作成	新潟大学 医歯学系教授 窪田 正幸	—
	微生物学	竹谷 茂	研究員	神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療指針の確率	神戸大学・医学部教授 錦織 千佳子	—

(単位: 円)

日本医療研究開発機構 (AMED)

平成28年度日本医療研究開発機構(AMED)委託費等採択一覧

※委託費等採択額: 直接経費¥73,845,305— 間接経費¥21,708,589— 合計¥95,553,894—

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/研究分担者	研究代表者、研究分担者、共同研究者等	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	形成外科学	森本 高樹	准教授	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発	研究代表者	京都大学 国立循環器病研究センター 大阪工業大学	34,999,231	10,499,769	45,499,000
	次世代がん医療創生研究事業	薬理学	赤間 智也	准教授	組換え体ヒトANXA1蛋白質の大量調製とdTIT7との結合試験及びGAD-TIT7等のペプチド化合物の質量分析	研究分担者	産業技術総合研究所 フェロー 福田 道子	2,940,000	882,000	3,822,000
	難治性疾患実用化研究事業	微生物学	竹之内徳博	准教授	(A)有効性評価指標の開発(他施設共同前向き研究)(D)HAMの分子病態解明とモデル動物作製	研究分担者	聖マリアンナ医科大学 教授 山野 嘉久	800,000	240,000	1,040,000
	難治性疾患実用化研究事業	微生物学	竹之内徳博	准教授	HAMの新規治療薬の機序に関する研究	研究分担者	鹿児島大学 教授 高嶋 博	1,000,000	300,000	1,300,000
	感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学	田中 正和	助 教	HTLV-1予防ワクチンの開発に関する研究	研究分担者	国立感染症研究所 部長 長谷川 秀樹	2,692,308	807,692	3,500,000
	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	未治療原発不明癌に対する次世代シークエンسを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う第二相試験	研究分担者	近畿大学 教授 中川 和彦	500,000	150,000	650,000
	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキド同時胸部放射線治療の無作為化第II相試験	研究分担者	国立がん研究センター 病棟医長 仁保 誠治	900,000	—	900,000
	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保	診療教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験 (JCOG404/WJOG8214L:AGAIN)	研究分担者	国立がん研究センター 呼吸器内科長 副院長 大江 裕一郎	450,000	135,000	585,000
	創薬基盤推進研究事業	内科学第一	佐竹 敦志	講 師	インターロイキン2の免疫抑制作用を活用する新しい免疫制御療法の開発	研究分担者	岡山大学 講師 松岡 賢市	250,000	50,000	300,000
	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三	岡崎 和一	教 授	IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	研究分担者	京都大学 教授 三森 経世	923,077	276,923	1,200,000
	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	井上健太郎	准教授	高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用化学療法の意味に関する臨床試験	研究分担者	静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長 寺島 雅典	800,000	240,000	1,040,000
	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 分野長 小川 朝生	3,700,000	1,110,000	4,810,000
	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	研究分担者	東京大学 教授 藤堂 具紀	1,153,847	346,153	1,500,000
	再生医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	新規治療法の開発と臨床試験の実施	研究分担者	久留米大学 教授 鳥村 拓司	6,667,611	2,000,283	8,667,894

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究	研究分担者	杏林大学 准教授 長島 文夫	1,000,000	300,000	1,300,000
	革新的がん医療実用化研究事業	脳神経外科学	浅井 昭雄	教授	予後不良の神経腫瘍に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究	研究分担者	国立がん研究センター 脳脊髄腫瘍科長 成田 善孝	—	—	—
	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 ニューロリハビリシステム	整形外科・リハビリ科	長谷 公隆	診療教授	未来医療を実現する先端医療機器・システムの開発/麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発	研究分担者	慶應義塾大学 教授 里宇 明元	11,000,000	3,300,000	14,300,000
	難治性疾患実用化研究事業	皮膚科学	神戸 直智	准教授	自己炎症性疾患の治療標的分子同定および薬剤開発基盤整備	研究分担者	京都大学 教授 平家 俊男	800,000	240,000	1,040,000
	難治性疾患実用化研究事業	腎泌尿器外科学	松田 公志	教授	内視鏡外科手術における熟練技術追体験システムを使用したトレーニングシステムの評価	研究分担者	大阪大学 准教授 安藤 英由樹	1,000,000	300,000	1,300,000
	難治性疾患実用化研究事業	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	朝子 幹也	准教授	ナットウキナーゼによるランゲム化プラセボ対照二重盲検試験	研究分担者	福井大学 教授 藤枝 重治	500,000	150,000	650,000
	難治性疾患実用化研究事業	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	神田 晃	講師	鼻茸マウスモデルの作成	研究分担者	福井大学 教授 藤枝 重治	500,000	150,000	650,000
	革新的がん医療実用化研究事業	放射線科学	谷川 昇	教授	最新のIVRによる症状緩和についての研究	研究分担者	国立がん研究センター 放射線診断科長 荒井 保明	769,231	230,769	1,000,000
	革新的がん医療実用化研究事業	放射線科学	中村 聡明	准教授	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	研究分担者	近畿大学 教授 西村 恭昌	500,000	—	500,000
革新的がん医療実用化研究事業	病態検査学 (臨床病理学)	葛 幸治	教授	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	研究分担者	国立がん研究センター 呼吸器内科長 後藤 功一	—	—	—	

(単位：円)

科学技術振興機構 (JST)

平成28年度科学技術振興機構 (JST) 委託費等採択一覧

※委託費等採択額：直接経費¥47,844,000— 間接経費¥14,353,200— 合計¥62,197,200—

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合計
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 CREST	病理学第一 (実験病理学)	上野 博夫	教授	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発	研究分担者	理化学研究所 ユニットリーダー 二階堂 愛	30,844,000	9,253,200	40,097,200
	研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム COI拠点「人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点」	精神神経科学	西田圭一郎	講師	組換え体ヒトANXA1蛋白質の大量調製とdTIT7との結合試験及びGA-dTIT7等のペプチド化合物の質量分析	研究分担者	中核機関・ 大阪大学COI拠点	5,000,000	1,500,000	6,500,000
	研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)シーズ育成タイプ	神経機能部門	小早川 令子	学長特命 教授	組換え体ヒトANXA1蛋白質の大量調製とdTIT7との結合試験及びGA-dTIT7等のペプチド化合物の質量分析	研究分担者	代表機関・ 株式会社カネカ	12,000,000	3,600,000	15,600,000

(単位：円)

その他公的研究費

平成28年度その他公的研究費等採択一覧

※委託費等採択額：直接経費¥9,590,909— 間接経費¥909,090— 合計¥10,499,999—

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合計
国立精神・神経医療研究センター (NCNP)	精神・神経疾患研究開発費	神経内科学	近藤 誉之	診療教授	分担研究課題「自己免疫性脳炎の臨床と基礎に関する研究」	研究分担者	国立精神・神経医療研究センター 特任研究部長 山村 隆	500,000	—	500,000
情報通信研究機構 (NICT)	高度通信・放送研究開発委託研究	整形外科・リハビリ科	長谷 公隆	診療教授	脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 副題：外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発	研究分担者	代表機関・株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)	9,090,909	909,090	9,999,999

(単位：円)

その他外部資金

平成28年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

平成28年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等を下記の研究者が贈呈された。

研究助成金額合計：¥88,330,305

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 薬理研究会 平成28年度研究助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	感覚刺激による情動と自律神経応答の制御を担う分子メカニズムの解明	1,000,000
公益財団法人 三井生命厚生財団 第49回医学研究助成	麻酔科学 梅垣 岳志 講師	鏡視下手術死亡の検討と対策	1,000,000
公益財団法人 第一三共生命科学研究振興財団 平成28年度第34回研究助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	先天的な恐怖情動を誘発する感覚受容体遺伝子の解明	2,000,000
公益財団法人 日本応用酵素協会 2016年度酵素研究助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	自発的な低体温を誘発するメカニズムの解明	1,000,000
国立大学法人金沢大学 がん進展制御研究所 平成28年度共同研究	微生物学 藤澤 順一 教授	成人T細胞白血病(ALT)発症モデルマウスにおけるエピゲノム変化の解析	—
公益財団法人 内藤記念科学振興財団 第11回(2016年度)内藤記念女性研究者研究助成金	神経機能部門 山中 智子 研究員	恐怖情動に伴う体温変化を制御するメカニズムの解明	2,000,000
公益財団法人 内藤記念科学振興財団 2016年度奨励金・研究助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	嗅覚入力による情動行動と自律神経応答の誘発を担う単一受容体遺伝子の解明	3,000,000
公益財団法人 住友財団 2016年度基礎科学研究助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	自由行動条件での脳深部イメージングによる感覚情報の意味判断原理の解明	1,900,000
一般財団法人キヤノン財団 研究助成プログラム「理想の追求」研究助成	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	先天的恐怖活用技術の開発によるげっ歯類からの食害防止	30,000,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2016年度武田報彰医学研究助成	神経機能部門 小早川 令子 学長特命教授	先天的と後天的な情動行動の制御機構の解明	30,000,000
公益財団法人 旭硝子財団 2016自然科学系「研究奨励」	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	嗅覚誘導性低体温を制御する分子メカニズムの解明と人工冬眠・低体温療法への応用	2,000,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2016年度「医学系研究奨励(精神・神経・脳領域)」	生理学第一 小原 圭吾 講師	睡眠時における海馬新CA2領域の機能の解明	2,000,000
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 平成28年度研究用ニホンザルの提供申請	生理学第二 安田 正治 講師	異なる情動が意思決定随意運動発現機構に及ぼす影響の解明	1頭
公益財団法人 ノバルティス科学振興財団 第30回(平成28年度)研究奨励金	薬理学 平井 希俊 講師	成長因子受容体を介した成熟心筋細胞の増殖の誘導とその分子機構の解明	1,000,000
公益財団法人 森永奉仕会 平成27年度研究奨励金	小児科学 堀 真一郎 研究医員	川崎病の発症リスクとしての腸内細菌叢の異常の関与	500,000
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構分子科学研究所 平成28年度共同利用研究(UVSOR施設利用)後期	物理学 楠本 邦子 准教授	走査型透過軟X線顕微鏡によるカビ臭産出シアノバクテリアの原核細胞オルガネラの同定	—
公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団 平成28年度研究助成金	腎泌尿器外科学 滝澤 奈恵 大学院生	副腎皮質自家移植片リモデリングにかかるシグナル経路の解明	1,000,000
公益財団法人 国際耳鼻咽喉科学振興会 平成28年度研究助成金	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 Bui Van Dan 大学院生	アレルギー性気道炎症における炎症局所の好酸球の機能的役割の解明	300,000
東京大学医科学研究所 平成29年度共同研究	外科学 海堀 昌樹 准教授	ヒト肝細胞がんに対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた新治療法の開発研究	644,000
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所 平成29年共同利用研究	神経機能部門 小早川 高 学長特命准教授	先天的と後天的なメカニズムの融合による情動・行動の理解と制御	—
公益財団法人 喫煙科学研究財団 平成29年度研究助成	産科学・婦人科学 岡田 英孝 教授	妊娠成立に向けたヒト子宮内膜機能に及ぼす喫煙の影響	2,000,000
国立大学法人 徳島大学 先端酵素学研究所 平成29年度徳島大学先端酵素学研究所「酵素学研究拠点」共同利用・共同研究	分子遺伝学部門 木梨 達雄 教授	ヒトおよびマウス胸腺細胞との相互作用による胸腺上皮細胞の成熟過程の解析	—

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 平成29年度共同利用研究 (VSOR施設利用) 前期	物理学 楠本 邦子 准教授	走査型透過軟X線顕微鏡によるPseudanabaena foetidaの原核細胞オルガネラの同定	—
公益財団法人 がん集学的治療研究財団 第37回一般研究助成金	外科学 井上 健太郎 准教授	治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討 - 観察研究 - (JFMC-1101)	10,000
公益財団法人 喫煙科学研究財団 平成28年度研究助成	内科学第二 豊田 長興 診療教授	ヒト心筋細胞及び心筋前駆細胞の甲状腺ホルモン代謝に及ぼすニコチンの影響に関する検討	2,000,000
公益財団法人 三島海雲記念財団 平成28年度(第54回)学術研究奨励金	神経機能部門 松尾 朋彦 研究員	機能的食品香料の開発を目指した匂いが誘発する生理応答を担う脳領域の同定と機能解析	1,000,000
公益財団法人 第一三共生命科学振興財団 平成28年度(第1回)PIセットアップ研究助成	神経機能部門 小早川 令子 学長特命教授	嗅覚刺激による情動行動と生理応答の制御機能の解明	3,000,000
公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター	内科学第二 神島 宏 准教授	冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験(REAL-CAD)	260,000
公益財団法人 大阪腎臓バンク 平成28年度腎疾患研究助成	小児科学 駿田 竹柴 大学院生	微小変化型ネフローゼ症候群におけるエンドセリン受容体拮抗薬の抗タンパク尿効果の検討	500,000
Intuitive Surgical, Inc	腎泌尿器外科学 吉田 健志 助教	工学的手法を用いた熟練術者の快適な手術体位の分析と新規の初心者教育法の開発	2,844,750
ルーヴェン・カトリック大学	皮膚科学 神戸 直智 准教授	ブラウ症候群の国際レジストリー	271,555

(掲載情報は申請当時) (単位: 円)

日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金採択

私立大学等における学術研究のための設備の取得費・維持費、その他学術研究に要する経費を対象として、学術研究振興基金の運用益から交付される日本私立学校振興・共済事業団(私学事業団)の平成29年度学術研究振興資金の採択テーマに、附属生命医学研究所分子遺伝学部門木梨達雄教授の研究グループが取り組む研究課題「ヒト免疫動態解析法の樹立による疾患解析」が選ばれました。交付額は1,900千円です。

また、39歳以下の助教またはポストドクターの職にある者が一人でやる研究に対して支給される学術研究振興資金(若手研究者奨励金)の採択テーマに、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座鈴木健介助教が取り組む研究課題「ヒト唾液腺悪性腫瘍におけるがん幹細胞の検討」が選ばれました。交付額は500千円です。

■木梨教授コメント

研究課題「ヒト免疫動態解析法の樹立による疾患解析：ヒト化マウスによる免疫動態解析技術の樹立」で日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金に採択していただきました。今回で3年連続採択され、課題研究を評価していただき大変光栄に思っています。この課題ではヒト免疫を研究するために、内科学第三講座岡崎教授、微生物学講座藤澤教授にご協力いただき、我々がこれまで培ってきた生体イメージング技術を駆使してヒト化マウスによる免疫疾患モデルを解析しています。基礎から臨床への研究展開の足掛かりとなるよう成果を出したいと思っております。



■鈴木助教コメント

この度は、歴史ある私学事業団学術研究振興資金にご採択頂き、身に余る光栄に存じます。これもひとえに友田学長、岩井教授、指導教官である神田講師のご指導の賜物であり、この場をお借りして御礼申し上げます。研究課題は、唾液腺がん組織におけるがん幹細胞の機能的役割を解明し、がん幹細胞をターゲットにした新しい治療法の開発を目的とするものです。今後とも皆様のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



病 院

北河内がん診療ネットワーク協議会合同市民公開講座

5月20日(土)午後2時から守口文化会館エナジーホール(守口市)において「がんのことをもっと知ろう!」をテーマに、北河内医療圏(枚方市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・四條畷市・交野市)の地域がん診療連携拠点病院、大阪府がん診療拠点病院の6病院(市立ひらかた病院、JCHO星ヶ丘医療センター、松下記念病院、美杉会佐藤病院、関西医科大学総合医療センター、関西医科大学附属病院)共催で、合同市民公開講座が開催されました。

松下記念病院山根哲郎病院長による挨拶の後、関西医科大学附属病院がんセンター葛幸治センター長が「最近のがん診療と大学病院の使命について」を、JCHO星ヶ丘医療センター外科中川正部長が「増えてきている大腸がん」を、松下記念病院緩和ケア内科小石恭士部長が「あ

なたと家族を支える～緩和ケア病棟のおはなし～」を、それぞれ講演。最後に葛センター長が閉会の挨拶を行い、公開講座は盛況のうちに幕を閉じました。



講演を行う葛センター長

附属病院

災害医療研修会開催

4月28日(金)、5月11日(木)の2回にわたり、附属病院13階講堂において災害医療研修会が行われました。

第1回は「災害医療総論」について、第2回は「災害拠点病院としての役割」について、それぞれ救急医学科櫻本和人助教(救急医学講座助教)、中嶋麻里助教(救急



講演を行う櫻本助教と参加者

医学講座助教)が講演しました。

「災害医療総論」では櫻本助教が災害とは何かや、災害が起こった際にはどのような行動を取ればよいのかなどを、平成28年に起きた熊本地震の際にDMAT(Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム)として被災地に赴き活動した経験なども踏まえて解説。「災害拠点病院としての役割」では中嶋助教が災害拠点病院とは何か、災害の際に何をしなければならぬかなどを解説しました。

いずれの講演でも、本学附属病院も有するDMATの働きの重要性が取り上げられ、またDMAT活動拠点本部に指定された場合に、DMATを受け入れる側に求められる支援や知識等についても説明がありました。

附属病院

ホスピタルアートギャラリーを開設

5月1日(月)、附属病院2階内視鏡センター前にホスピタルアートギャラリーを開設しました。

これは患者さんにアートに触れていただく憩いの場として、また附属病院が所蔵するアート作品の展示の場として、附属病院澤田敏病院長の発案で開設されたもの。壁面は気持ちを落ち着かせる効果のある青色とし、展示内容は風景画や色彩の美しさを感じられるものになっています。

なお、展示作品は定期的な入れ替えが予定されており、今後は写真展なども企画しています。



開設されたホスピタルアートギャラリー

総合医療センター

世界初の機構を備えた、ハイブリッドERを導入

7月4日(火)、総合医療センター救命救急センターが世界初の機構を備えた2ルーム Hybrid Emergency Room (標準CT組合せ型IVR-CT、以下「ハイブリッドER」)を導入し、稼働を開始しました。これは、本学(救急医学講座中森靖診療教授)と東芝メディカルシステムズ株式会社が共同で開発したもので、CT装置を別室(CT撮影室)に移動させる世界初の機構を装備することにより、ある患者さんの手術中に別の患者さんのCT撮影が可能となるシステム。もちろん従来型と同様、一つの手術台で手術・カテーテル治療・CT検査も可能です。

今回の稼働開始で、高度救命医療の追求と限られた医療資源の有効活用という、相反する救急現場のニーズに

応え、これからの救命救急医療の発展に寄与することが期待されています。



導入されたハイブリッドER全景。左奥にCT検査室が見える。

香里病院

市民公開講座「すこやかな生活をめざして」

4月15日(土)午後2時30分から寝屋川市立地域交流センター・アルカスホール(寝屋川市)において香里病院市民公開講座が開かれ、寝屋川市民など168人が受講しました。

香里病院高山康夫病院長の開会挨拶後、附属病院リハビリテーション科長谷公隆診療部長(整形外科学講座診療教授)が「生活を支えるためのリハビリテーションの知識」と題し、多様化するリハビリテーションのあり方や健康寿命(日常生活が制限されことなく生活できる期間)の延長に効果的なりハビリテーションの治療法を紹介し、関医訪問看護ステーション・香里の聲高英代管理者が「自宅で受ける医療と介護～多職種で支える在宅療養」と題し、現代の社会背景から必要とされる医療と介護、様々な専門職で支える安心な在宅医療について講演しました。

今回初めてシンポジウム形式を取り入れ、医師、訪問看護師、訪問リハビリスタッフ、ケアマネージャーも登壇。現代の在宅医療や看護について理解を深める機会となりました。



シンポジウム形式を取り入れた公開講座の様子

香里病院

「関医ケアプランセンター・香里」開設

5月1日(月)、「関医ケアプランセンター・香里」が開設されました。当センターは2016年に開設した「関医訪問看護ステーション・香里」と同じ建物内に設置され、専属のケアマネージャーを配置。香里病院を始めとする附属病院、総合医療センターの退院患者さん、地域包括支援センターから紹介された患者さんの介護保険申請や、医療ニーズの高い患者さんに対する適切なケアプランの作成などを行います。これにより、病院と「関医訪問看護ステーション・香里」との橋渡しが実現。入院患者さんの在宅移行を支援しつつ、適切な居宅介護支援サービスが受けられるよう支援していきます。



関医ケアプランセンター・香里(関医訪問看護ステーション・香里内)

附属看護専門学校戴帽式



ナイチンゲール誓詞を朗唱する戴帽生

5月12日(金)午前10時から枚方学舎加多乃講堂において、附属看護専門学校第37期生の戴帽式が行われました。学生の保護者ほか多くの臨席者が見守るなか、臨地実習を控えた77名の学生にナースキャップと、ナイチンゲールの精神を象徴する聖火が授けられました。

楠本健司学校長の式辞に続き、来賓の附属病院安田照美看護部長から戴帽生へ、激励の言葉が述べられました。

学校長式辞

学校長 楠本 健司

37期生77名の皆さん、戴帽式を迎えられ誠にありがとうございます。本日ご出席いただきました保護者やご家族の皆様方、ようこそお出でいただきました。先ほどの戴帽とキャンドルサービスの厳粛なセレモニーをご覧になり、1年余り前には高校生であったご子弟が、立派に看護師への道への歩みを進められている成長を目の当たりにされたことと思います。心よりお慶びを申し上げます。併せまして、ご来賓の皆さまには、ご多忙中戴帽生のためにご臨席を賜りましたこと、教員を代表して心より御礼を申し上げます。

戴帽式とは、古くは患者さんのお世話をしていた修道女たちが茨の冠を頭に被りその治癒を神に祈ったことに由来し、ナイチンゲールの時代には、着衣式として行われていたと聞いています。現在、看護の現場では医療安全や感染症の考えからナースキャップは使われていないことが多いのですが、戴帽式は看護師になるという志を改めて認識する意義深い機会となっています。今日は皆さんが敬愛するナイチンゲールが1820年5月12日にイタリアのフローレンスで生まれた生誕の日でもあります。この記念すべき日に、先ほど皆さんはナイチンゲール像から灯をもらい、キャンドルは今皆さんの手の中にあります。ナイチンゲールはクリミア戦争のときに戦地に赴き、徹夜でランプを持って敵味方の区別なく戦傷者や病人の看護をしました。そのため“ランプを持つ婦

人”the lady with the lampと呼ばれています。テントの中で戦傷者たちはナイチンゲールの持つランプが近づいてくことに如何に癒されたことでしょうか。皆さんが先ほどナイチンゲール像から受け取った灯を看護の現場で患者さんたちに是非伝えてください。

看護といいますのは、その字のとおり「看」という字は患者さんに手を差し伸べよく見ることを意味し、「護」は言葉をかけて守ることを意味します。そして、看護師に求められることは、すでに皆さんが授業で学んだように知識、技術、コミュニケーション能力です。この戴帽式に当たり今後さらに看護の現場に実習に出る皆さんに私から3つのことを伝えておきたいと思います。

一つはコミュニケーションの中で最も重要な言葉のことです。患者さんへの言葉かけは極めて重要です。時に思わず患者さんを傷つけたり、不快にさせてしまうことがあります。言葉づかいは慎重に、十分気を付けてください。二つ目は、身だしなみをきっちりすることです。華美にならないように清潔な印象のよい身だしなみを心がけましょう。三つめは、皆さんはまだ一人前の看護師ではありません。看護の現場で分からないことが生じてきます。そのような時には必ず教員や先輩看護師、医師に相談してください。

戴帽生の皆さんには、今後一層勉学や実習に励み、立派な看護師になってもらうことを心より願っています。本日は戴帽式を迎えられ誠にありがとうございます。



附属看護専門学校 発展的閉校

附属看護専門学校は、昭和7年に開校した大阪女子高等医学専門学校附属看護婦養成所に端を発し、85年の看護基礎教育の歴史を経て、4,500名を超す卒業生を輩出。卒業生は現在も本学の関連施設にとどまらず、関西圏、全国、さらに海外で看護師として慈しみの心を持って医療に携わっています。

そうした中、関西医科大学における看護基礎教育は平成30年4月の設置を目指す看護学部へ継承されることとなり、附属看護専門学校は平成33年3月をもって発展的に閉校することとなりました(平成29年7月現在、看護学部設置認可申請中)。

関係の皆様には、これまで同校を支え、育ててくださったことを深く感謝し、ここに厚く御礼申し上げます。

なお、最後の卒業生となる平成30年度入学者の募集は予定通り実施いたします。詳細は募集要項をご確認下さい。

平成30年度附属看護専門学校入学試験について

今年度入試日程が決定しました。

【推薦入学試験(指定校・公募制)】

募集人員	30名(指定校・公募推薦合わせて)
出願期間	平成29年11月1日(水)～11月8日(水)※当日消印有効
試験日時	平成29年11月18日(土)午前9時開始
試験科目	学科試験(各50分)国語：国語総合(漢文・古文除く)・英語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 面接試験
試験場	附属看護専門学校
合格発表日	平成29年11月28日(火)

【一般入学試験(前期)】

募集人員	25名
出願期間	平成29年12月1日(金)～12月21日(木)※消印有効
試験日時	平成30年1月12日(金)午前9時開始
試験科目	学科試験(各50分)国語：国語総合(漢文・古文除く)・現代文A、英語コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、 数学Ⅰ(但し、「データの分析」は除く) 面接試験
試験場	附属看護専門学校
合格発表日	平成30年1月22日(月)

【一般入学試験(後期)】

募集人員	5名
出願期間	平成30年1月22日(月)～2月8日(木)※消印有効
試験日時	平成30年2月20日(火)午前9時開始
試験科目	学科試験(各50分)国語：国語総合(漢文・古文除く)・現代文A、英語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 面接試験
試験場	附属看護専門学校
合格発表日	平成30年3月2日(金)

出願書類など詳細は附属看護専門学校ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/nurscoll/juken/>)をご覧ください。

附属看護専門学校防犯訓練講習会

5月17日(水)午後2時40分から、牧野キャンパス体育館において「防犯訓練講習会」が開催されました。この講習会は看護専門学校に入学したばかりの1年生を対象に、枚方市近隣の犯罪発生状況や防犯対策を知ってもらうため、大阪府警察本部と枚方警察署の協力を得て毎年開催しています。

まず、牧野キャンパス近隣を管轄する枚方警察署管内の犯罪発生状況や特徴的な手口について説明を受け、スマートフォンやSNSを悪用した犯罪に巻き込まれないためのポイントを解説したビデオを視聴しました。

その後、枚方警察署生活安全課の指導の下、護身術の実技や刺股の取り扱い方を学び、学生たちはもしものときに自分の身を守れるよう、真剣に講習に取り組んでいました。



交互に刺股の取り扱いを学ぶ学生

初期臨床研修合同説明会『研修医と語ろう会』を実施

5月6日(土)午後3時から附属病院13階講堂及びレストラン「のぞみ」において、平成30年度初期臨床研修医募集のための合同説明会が行われました。まず講堂では、本学での研修について卒後臨床研修センター金子一成センター長が説明しました。続けて行われた研修医自身の体験談や普段の日常生活を踏まえた説明は、「研修の感想やアドバイスを聞いたのが良かった」と、参加した学生から好評を博しました。その後会場をレストラン「のぞみ」に移し、指導医も交えた情報交換会を開催。和やかな雰囲気の中で参加者は、研修医・指導医と交流し、会場は終始盛り上がりを見せていました。



初期臨床研修合同説明会の様子

専門研修合同説明会が盛況のうちに終了

5月20日(土)午後3時から枚方学舎3階学生食堂において、平成29年度専門研修合同説明会が開催されました。1年間延期となった新専門医制度に関する説明会だったことからか、昨年の50名を上回る本学2年次研修医26名、1年次研修医16名、他病院の研修医14名の合計56名が参加。松田公志副学長(腎泌尿器外科学講座教授)の挨拶の後、卒後臨床研修センター金子一成センター長(小児科学講座教授)が現段階での新専門医制度について説明しました。その後、15プログラム約35名の指導医がブースに分かれて各プログラムの説明にあたりました。



専門研修合同説明会の様子

「卒研センターNEWS」創刊

卒後臨床研修センターは今年の1月、各講座・診療科の専門研修プログラムを紹介する新しい広報誌「卒研センターNEWS」をリリースしました。これは、各講座の専門研修プログラムをダイジェストで紹介し、初期臨床研修医や医学部学生の進路選択のきっかけとなることを目的に創刊されたもので、今後も3ヶ月に一度「関西医科大学広報」と同じタイミングで発行される予定です。また、院内託児所や大学院教育に関するニュース記事など、専門研修医の方にとって役立つ情報も随時掲載しています。

なお、電子版を以下のURLで公開しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.kmu.ac.jp/residency/recruit/sotsukennews.html>





2017年1～3月、本学が主催および事務局を務めた学会、同期間中の学会賞受賞者を紹介します。

学会主催報告

第9回脊椎IVRフォーラム

■会期 2017年4月16日 ■場所 パシフィコ横浜会議センター

パシフィコ横浜において第9回脊椎IVRフォーラムが開催されました。経皮的椎体形成術などの脊椎に関連するIVR技術ならびに適応、その画像および臨床評価などについて多くの議論が盛り上がりました。

【代表世話人／放射線科学講座教授 谷川 昇】

学会賞受賞情報

日本肝がん分子標的治療研究会第7回沖田賞

外科学講座 海堀 昌樹 准教授

■テーマ Increased FGF19 copy number is frequently detected in hepatocellular carcinoma with a complete response after sorafenib treatment.

■授与学会 第16回日本肝がん分子標的治療研究会



JJR Excellent Reviewer Award in 2016

放射線科学講座 池田 耕士 病院准教授

■受賞理由 本学会学会誌Japanese Journal of Radiologyの査読員として2016年に一度の遅滞もなく高頻度に査読した。

■授与学会 第76回日本医学放射線学会総会



大会長特別賞

放射線科学講座 米虫 敦 診療講師

■テーマ 日本IVR学会英文機関誌「Interventional Radiology」発刊への寄与

■授与学会 第46回日本IVR学会総会



JRS CyPos賞 シルバーメダル

放射線科学講座 河野 由美子 助教

■テーマ RIT(Radioimmunotherapy)における RI 標識法の違いによる腫瘍集積性について(部位特異性標識法と従来法との比較)

■授与学会 第76回日本医学放射線学会総会



関西医科大学附属病院 中学・高校生対象イベント

臨床検査体験セミナー

オープンラボ

8月19日(土)
14:00~17:00

8月19日(土)、中学生・高校生対象の臨床検査体験セミナー「オープンラボ」を開催します。これは、医師の診断や治療に重要な役割を果たしている血液や尿、細胞組織、細菌、肺活量、心音などの検査(臨床検査)を体験してもらい、参加者の将来的な職業選択や自己実現の一助とするためのイベント。大学附属病院の臨床検査部門が主催する例は他にあまりなく、珍しい催しです。当日は臨床検査部の業務や設備紹介、臨床検査部見学ツアーを行った後、各種検査の体験、生理機能検査(エコー)体験などを行います。

申込方法：学校名・氏名を記入の上、
下記までメール送信(8/12(土)必着)

参加資格・定員：中学生・高校生、先着30名

申込先：kouhou@hirakata.kmu.ac.jp

問合せ先：関西医科大学附属病院 管理課広報係



教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介しします。(主に平成29年4月1日～6月30日 ※判明分のみ)

本学附属病院 高度救命救急センター	読売新聞 朝刊 (4月2日)	4月1日にドクターカーが導入されたことが紹介されました。これは北河内医療圏において初めてとなる導入で、ドクターカーは4月3日から平日午前9時～午後5時まで、枚方市、寝屋川市、交野市を対象に稼働し、重篤傷病者の初期治療にあたります。
内科学第二講座 宮坂 陽子 講師	読売新聞 朝刊 (4月9日)	不整脈の一種である「心房細動」が取り上げられ、脳梗塞だけでなく心不全を併発する危険性が高いことや、高齢者の死亡率が高くなるという、宮坂講師の研究が紹介されコメントが掲載されました。
総合医療センター 救急医学講座 中森 靖 診療教授	エマージェンシー・ケア 2017年5月号(第30巻5号) (4月10日発売)	2月2日に総合医療センター旧本館で行われた災害訓練について特集が生まれ、訓練の様子が紹介されるとともに、中森診療教授のコメントが掲載されました。
眼科学講座 山田 晴彦 准教授	毎日新聞 朝刊 (5月23日)	7月1日の第10回「目の健康講座」開催を前に開催された大阪府眼科医学会会長と副会長3名、学術担当理事である山田准教授の座談会が紹介され、網膜剥離の症状や治療法に関する同教授のコメントが取り上げられました。
皮膚科学講座 神戸 直智 准教授 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 小林 良樹 講師 小児科学講座 畑埜 泰子 助教	テレビ大阪「ニュースリアル」 (5月31日)	4月1日に設置された附属病院アレルギーセンターが取り上げられ、アレルギー疾患に対する最新の考え方や、乳幼児期からできるアレルギー疾患の予防アプローチなどについて、神戸准教授のコメントが放送されました。また、アレルギー対策についての小林講師、畑埜助教のコメントも紹介されました。
小児科学講座 畑埜 泰子 助教	読売新聞 夕刊 (5月31日)	連載企画「医なび」において「食物アレルギー」の原因や症状、治療法が取り上げられ、畑埜助教の最新治療法に関するコメントが掲載されました。同助教は、少量でも安全な範囲で可能な限り食することで食物アレルギーを克服できる可能性に触れ、専門医とともに根気よく治療するよう呼びかけました。
総合医療センター 麻酔科学講座 久保 古寿江 助教 高尾 紀子 看護部長 ほか	オペナーシング2017年 5月号 (5月31日)	手術室紹介「オペルーム」コーナーで総合医療センターが取り上げられました。きめ細かい独自の看護師教育システム、シスター・臨地実習指導者・教育担当者などの仕組みや、新人ナースを対象とした情報共有のための「めぐみ会」などが紹介され、久保助教、高尾看護部長のほか、手術室担当看護師のコメントが掲載されました。
眼科学講座 高橋 寛二 教授	朝日新聞 朝刊 (5月31日)	加齢黄斑変性が薬で視力の維持や改善が見込めることを解説した記事において、高橋教授の「視力を維持しながら治療薬の注射回数を減らすことが理想だが、注射の最適な間隔を判断するためには臨床データを積み上げることが重要」とのコメントが掲載されました。
生理学第一講座 小原 圭吾 講師	朝日放送「キャスト」 (6月8日)	何気ない日常の疑問を解き明かすコーナー「なんでやねん!」で「もの忘れ」が取り上げられ、小原講師が記憶のメカニズムや音楽を活用して上手に記憶を引き出す方法、「光遺伝学」などの最新の脳科学研究について解説しました。
産科学・婦人科学講座 岡田 英孝 教授	毎日放送「医のココロ」 (6月10日)	シリーズ「月経の異常」において、「月経周期の異常」をテーマに、岡田教授が生活の変化や過度のダイエットなど月経周期が乱れる原因やその悪影響、治療法を解説しました。
附属生命医学研究所侵襲反応制御部門 廣田 喜一 学長特命教授 ほか	大学ジャーナルオンライン (6月27日更新)	廣田学長特命教授らの研究チームが、局所麻酔や神経ブロック麻酔の副作用として知られる神経障害の発生メカニズムを解明したことが取り上げられ、局所麻酔時の神経障害リスク抑制にもつながる可能性があることが紹介されました。
救急医学講座 中嶋 麻里 助教	朝日放送「キャスト」 (6月29日)	様々な事象の裏側に迫るコーナー「オフレコ」において4月1日から本学附属病院で運用が開始された「ドクターカー」が取り上げられ、中嶋助教の活動に取材班が密着。ドクターカー導入のメリットが紹介されるとともに、同助教らの活躍が放送されました。
皮膚科学講座 岡本 祐之 教授	読売新聞 朝刊 (6月29日)	ホテル京阪京橋グランデで8月26日に開催予定の読売健康講座「皮膚だけではない!奥が深い乾癬を知らう」の告知記事で、当日岡本教授が司会を務めること、及び同講座と附属病院リウマチ・膠原病科の専門医が登壇する予定であることなどが紹介されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

今号から新企画「若手研究者特集」の掲載がスタートしました。先生方の研究成果を学内外に発信すべくインタビューする連載企画です。取材では日々実験・研究に取り組まれる先生方の思いをお聞きし、世界でまだ誰も明らかにしていないことを解明することの重みと素晴らしさを実感しました。

取材にご協力くださった先生方、またこの企画の実現に向けてご協力くださった皆様に感謝申し上げます。(さ)

関西医科大学広報 Vol.38

発行 学校法人 関西医科大学

編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)
FAX 072-804-2547

http://www.kmu.ac.jp/

E-mail : kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

平成29年7月31日(月)発行